

## 広帯域 MT 観測による歪集中帯周辺の深部比抵抗構造

### Preliminary Results of Wideband-MT Surveys in the NKTZ Concentrated Deformation Zone, Chubu Region, Japan

# 吉村 令慧[1]; 歪集中帯地殻比抵抗研究グループ 大志万 直人[2]

# Ryohei Yoshimura[1]; Oshiman Naoto Research Group for Crustal Resistivity Structure in the NKTZ Concentrated Deformation Zone[2]

[1] 京大・防災研; [2] -

[1] DPRI, Kyoto Univ.; [2] -

平成 16 年度からの 5 ヶ年計画である「地震予知のための新たな観測研究計画(第 2 次)」では、新潟 - 神戸歪集中帯に位置する跡津川断層周辺において、高密度の地震・GPS 観測および比抵抗構造調査のための合同観測が計画された。歪集中帯地殻比抵抗研究グループ(\*)は、歪集中帯周辺の下部地殻を電気比抵抗で精密にイメージングすることを目的に、2004 年度に跡津川断層を横切る測線で、広帯域 MT 法を用いた比抵抗構造探査を実施した。合同観測は、北班・南班に分けて実施され、測線長約 100km、合計 30 観測点でデータを取得した。今回の MT 観測では、Phoenix 社製 MTU5 および 2E を計 19 台用いており、ローカルなノイズを除くための磁場参照点として、鹿児島島のデータを使用する。しかしながら、富山市周辺および中央線沿いは、ノイズレベルが高く、夜間値であっても時系列を精査し、ノイズが比較的混入していないと思われる時間帯のみ使用することとした。

観測データの処理・解析は現在進行中であるが、本講演では、主に北班で取得したデータを使用し、跡津川断層を中心とした約 70km の断面で Ogawa and Uchida [1996] のインバージョンコードを用いた予備的解析結果を示すとともに、構造に対する考察についても行う予定である。

-----  
\*歪集中帯地殻比抵抗研究グループ

北班：藤浩明、兼崎弘憲、松浦友紀、森谷辰輝、笠見弘昌(富山大)、西谷忠師(秋田大)、塩崎一郎、望戸裕司、桑波吉紘、田中嘉一(鳥取大)、畑真紀(立命大)、大志万直人、吉村令慧、和田安男、中尾節郎、藤田安良、宇都智史(京都大・防災研)

南班：茂木透、山谷祐介(北海道大)、坂中伸也(秋田大)、三品正明(東北大)、後藤忠徳、笠谷貴史(海洋研究開発機構)、佐藤秀幸(産総研)、小川康雄、本蔵義守、氏原直人(東工大)、原田誠(東海大)、山口覚、長野雄大(神戸大)、村上英記(高知大)、上嶋誠、小山茂、相澤広記(東京大・震研)